

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

開催日時 令和8年3月13日(金) 14:00~15:20

開催場所 箕面東高等学校 校長室

出席者(委員) 伊東会長、篠崎副会長、永井委員、須貝委員、福田委員

出席者(学校) 末永校長、川上教頭、本間教頭、山田首席、吉田教諭、小野教諭、下村教諭

傍聴者 なし

【報告事項】

1. 学校教育自己診断アンケートについて
2. 令和7年度卒業生の進路決定状況について
3. 第2回「スタディツアーin韓国」について

【協議事項】

1. 令和7年度学校経営計画及び学校評価について
2. 令和8年度学校経営計画について

*本校教員の発言
@委員の方の発言

議題等(次第順)

【挨拶】

校長より

- ・新教頭の紹介
- ・現在スタディツアーの帰国は、本日
- ・特別選抜が終了(合格発表もオンラインで)、3/7の合格者説明会を実施
- ・3/6に卒業式を実施、3/16に修了式があり、生徒にとっては今年度が終わる

【報告事項】

1. 学校教育自己診断アンケートについて(川上教頭)
 - ・生徒用 回答280名 80%以上、前向きな回答あり
 - ・「8 授業以外の学習時間」まったくしない63.9%、30分未満が14.5%
 - ・「9 考査期間中の学習時間」まったくしない26.0%、30分未満が14.5%、一方で2時間くらい勉強している生徒もある。
 - ・「18 進路希望」大学・短大、専門学校、就職、未定が4分の1ずつであるが、専門学校がやや多い傾向。
 - ・「23 学校のルールを守っている」よく守っている人が80%以上

- ・「24 生徒指導の方針について納得している」80%以上が納得している。
- ・自由記述 「うるさい人を指導してほしい」という声が多数

教職員用

- ・「8 この学校は清掃が行き届いている」50%があてはまると回答。
- ・「16 この学校では教職員がPTA活動に参加している」約60%があてはまると回答。
- ・「21 この学校ではICT機器が授業などで活用されている」肯定100%
- ・「31 校則について生徒の教職員の間で話し合っている」56.5%があてはまると回答。
- ・「38 読書指導に積極的に取り組んでいる」非常に肯定率が低く、15.2%のみあてはまると回答。

保護者向け 57人のみ回答

- ・「17 学校のホームページ」保護者の方にはあまり見られていない（他校の教員からは好評）
- ・「19 PTA活動に参加しやすい」の肯定率が52.6%
- ・自由記述 文化祭や体育祭について、制服についてのご意見あり

@どこの清掃のことを言っている？

*廊下やトイレなど。

@生徒はトイレ掃除をしている？

*業者の方にトイレ掃除をしていただいている。

@階段あたりが非常に汚いが、清掃をしているのか。

*清掃当番がいる。

*有志の先生が行っていることもある。

*大阪府が5年以内に改修、壁の塗り直しなどの費用を出すことになっているが、HR教室のみという縛りがある。モジュールや選択科目でHR教室以外も使用するので、他の部屋も改修できたら「もっと学校を綺麗にしよう」という気持ちも生まれると思う。廊下も改修予定。

@掃除の時間はあるのか。

*曜日ごとで当番を決めている、あとはオープンスクールの直前にも大掃除をしている。

2. 令和7年度卒業生の進路決定状況について（吉田教諭）

- ・現在、受験中の生徒が1名いる。
- ・大学連携校 約21%進学
- ・辻調理師専門学校が連携校、今年は4名
- ・就職について、2月に決まった生徒もいた

- ・高校卒業後、どのようになっているのかを追いかけていくかが課題。内定はしたが、就職手続きについて、企業様から学校にご連絡をいただくこともある。どうしていきべきか。
- ・進学が決まった生徒の9割は総合型選抜や指定校推薦などで、一般受験はなし。
- ・次年度は教職員以外の面接だけではなく、AI面接なども使用予定。

@AI面接とは？

*PCの画面でできるもので、実際に話した内容は文字起こしをして評価をしてくれる。家でもできる。

3. 第2回「スタディツアーin韓国」について

- ・3/10(火)から3/13(金)まで、和泉総合高校と合同で韓国へスタディツアーに行っている。
- ・現在、全行程を終わらせた。
- ・漫才を韓国語で行うなど、さまざまなことを行っている様子。

*関西国際空港に行ったときに、漫才を担当する生徒が必死でネタ合わせをしていた。帰ってきたあとに、生徒向けにスタディツアーの発表会があるため、そのときに見ることができたら。

@付き添い教員は？

*付き添い教員は3名。生徒の参加は希望者のみなので、保護者も費用を工面してくださる。

【協議事項】

1. 令和7年度学校経営計画及び学校評価について（末永校長）

- ・新たに加えたところは「3 本年度の取組内容及び自己評価」の表と、「中期的目標の自己評価」の欄の2か所。
- ・「モジュール授業などの、わかりやすい授業」の肯定率が3.59ポイント。大阪府全体の平均は3.35ポイントであるため、本校は全体的に高くなっている。習熟度別学習の国数英の理解度の肯定率の目標を達成している。タブレット端末などのICT機器の活用もできている。

「2 キャリア教育の充実」

- ・イの「国際理解」では、韓国スタディツアー実施、ストリートインタビュー、韓国から来た生徒の交流など、国際交流ができている。
- ・「生徒向けキャリアガイダンス」の肯定率が88.5%。進路未決定率が、昨年度4.1%→今年度1.8%になる見通し。キャリアガイダンスをふまえて、進路未決定率が減少

している。進路指導部や学年の教職員、最後までがんばった生徒のおかげか。

「3 生徒指導と生徒支援体制の充実」

- ・「イ 体育祭、文化祭などは活発である」の肯定率は今年度 77.5%と昨年度より微増しているが、目標の 80%には届かず。来年度は 80%をめざす。
- ・「エ 中退率（1 月時点）」は現在計算中だが、今より数が多くなる予定。不登校率（1 月時点）も、もう少し増える可能性あり。
- ・「カ いじめ対応について」は、かなりの肯定率であり、84.4%。去年より肯定率が増えている。

「4 広報活動の充実」

- ・「イ オープンスクールや出前授業の充実」参加率が増えている（321 名）。中 3 だけではなく、中 1、2 の時点でオープンスクールに参加してくれている人もおり、今年度は小 5 の保護者も参加してくださった。
- ・今年度は出前授業を増やそうとしたが、今年度は 6 回。去年より 1 回増えたが、目標の 10 回に届かず。

「5 教職員の働き方改革」

- ・教職員の残業時間が 1 月末までの平均 26.4 時間。2 月は超過勤務が減る傾向にあるが、3 月は次年度の準備で超過勤務が増える傾向にある。このまま 30 時間以下であってくれたら。
- ・ストレスチェックの平均数値を 100 ポイント以下にする→去年は 104 ポイント、今年が 92 ポイントで目標達成した。

@出前授業はどんな学校に行くのか。

*豊中や池田の中学校でお声をかけていただくことが多い。

@通常の、学校で行う授業を行っているのか。

*総合学科なので、5 教科以外の授業を依頼されることが多い。本校で特色のある授業を実際に行うこともある。

*今年の初任者は出前授業のリハーサルを行って、終わってから他の教職員から改善点をもらい、ブラッシュアップしてから出前授業に行った。

@今年は何人、定員割れしたのか。

*140 名募集（4 クラス）だったが、119 名出願。1 名欠席して 118 名合格した。結果、今の 1 年生とほぼ同数となっている。

2. 令和 8 年度学校経営計画について（末永校長）

- ・内容はほとんど令和 7 年度と変わりはない。令和 7 年度結果の数値を入れた。
- ・「1 わかる授業、学ぶ意欲を喚起する授業」では、次年度もモジュールや習熟度別学

習を柱として、今後も継続していく。

- ・「エ 英検」はBASE in OSAKA を使用（大阪府が開発したもの）。英検の面接練習もできる。資格の勉強を行っていきたい。
- ・「2 キャリア教育の充実」進路の未決定率が次年度も少なくなるように、がんばっていきたい。箕面東版デュアルシステムを実施。デュアルシステムは本校の売り。「この仕事が自分には合っている」など、ためになる学習で、生徒の「参加してよかったか」という肯定率が100%。
- ・「3 生徒指導と生徒支援体制の充実」では不登校支援に力を入れる。

(2) 大阪府「OSAKA CYCLE ～5つのC～」＝不登校支援

- ・5つのCとは、
コーディネート、キャッチ、コンサルテーション、コンティニュー、チェック
不登校率20%以下、中退率5%以下を掲げる。
めいぶるカフェなどの居場所づくり、SC、SSWの活用、不登校や中退の防止に取り組んでいきたい。
- ・「4 広報活動の充実」中高連携会（夏ごろ）の実施→本校に進学した生徒について、中学校の先生に来ていただいて本校での様子をお伝えする。中学校の先生に「本校に入学させてよかった」と思えるように今後も活動していく。
- ・「5 労働安全衛生管理体制の充実」について、超過勤務720時間を超える教職員をゼロにする（大阪府としても目標でもある）。世間では教員が大変だと言われ。教員をめざす人数が少ないということもあり、教員の働きについて、大阪府全体で取り組んでいる。

@広報はSNSで行い、HPに誘導するというをしている学校もある。SNSからHPに誘導する、というのは今の中学生にとっては難しいのか？ 保護者の方もSNSに触れる機会が多い世代になってきたので、SNSを通して学校のことを知る人も多いのではないかと。紙の印刷や準備の時間も減り、良いのでは。

@逆にSNS中心になると、何が本当の姿なのか見えなくなるのではないかと。学校の本当の姿がわかっておらず、いいところだけを見て進学してしまうというケースがある。私立の授業料無償化の影響で定員割れをしているが、私立は実際には活動費や教科書代などでお金がかかりかかる。その点について、中学校の教員がどこまで理解しているのかを研究してほしい。

*一般選抜は今年3/11。保護者の方からすると、私学入試に比べて実施日が遅いという意見もある。保護者からすれば不安である。入試の受け方についても、私立が合格していたら、公立校は「チャレンジする」という意識を持っている方が多い。それにより、公立は倍率が高いところと低いところの二極化が進んでいる。令和10年度から選抜の検査日が一本化されるが、本校からすると日程が遅くなる。

*管理職の中でその話をすると、私立では「広報担当」という、授業を持たず学校の広報を専門にしている人がいる。公立ではそれができないため、どうしても宣伝に差ができてしまう。

@中学校の先生との信頼関係（箕面東に行かせてよかった）を作ることが必要か。中高連絡会もあるなら、それを活用し、理解力の向上における。

@「広報活動」について、3/6の地域のイベントに箕面東高校の探究部の生徒とBMX部の生徒が来てくれた。未来について、通りすがりの方や地域の方に「今の高校生ってどんな感じなの？」と質問され、丁寧に答えており好評だった。イベントに高校生が出ると地域の方は注目する。出演するときに学校のパンフレットを置いたり、宣伝したりするとよいのではないか。出前授業について聞いてくれる人もいた。小学生や中学生も来ていたので、来年度もまたお願いしたい。

@PTAより 生徒数減少から委員全体の人数が減ってきている。それに伴って、PTAを引き受けてくださる方も減っている。PTA加入が任意になって、加入なさらないという方もいる。その状態で行事を回していると、「PTA担当の先生は毎回同じなので、他の先生方に少しでも顔を出していただけると嬉しい」という声があった。現在加入されている方からPTAの役員を選出するのもかなり負担であり、無理をしている会員もいるのではないか。次年度の行事もPTA役員が負担にならないようなことで行いたい。